

まあ仕方のないことかあ

しかし、そんな天ぶらでも、手を入れて、懇ろに作ってある。

以前の様に、海老とか、モンゴいかとか、高価な材料を使っていたのとは違って、食べていても、ちと寂しい。

けれど、以前の、何も考えず、ただ、「出されたら、食べるが当然」と言った調子で食べていたのとは違って、今は、食べながらも、何か、母に対して、心を打つものを感じ、母が行う、無意識な、僕たち子供への態度がまざまざと、頭に浮かぶ。

予定表をたよりに、勉強を始める。今日は第一日目だ。

参考書もはじめの方で、内容がやさしい。早く進む。

外が明るくなる。窓から外を見てみた。

伏見桃山城の上に夏雲が飛ぶ。

「風雲児、木下殿、あなたは偉かった。」

六時半頃から英語の復習にかかった。

終われば十時半。